

外部評価委員会結果記録書

平成 25 年 9 月 2 日作成

評価年月日	平成 25 年 8 月 23 日
評価の概要	<p>新潟県環境マネジメントシステムについては、ほとんどの項目で年次目標を達成しており、概ね良好な運用がなされている。</p> <p>P D C A サイクルにおいては、各所属で実績の把握と原因分析を行い、更なる改善につなげるとともに、全県での取組状況の把握が重要であり、次の点について検討し、システムの改善を推進されたい。</p> <ol style="list-style-type: none">1 複写機用紙については、I T 機器の発達による資料の増加などの弊害の部分もあるが、業務効率と費用対効果のバランスを配慮しながら削減を進められたい。 また、実現可能性の観点から数値目標の修正について検討する必要がある。また、優れた取組については速やかに全所属に水平展開することが必要である。2 エコドライブについては、講習会の実施等により職員の意識付けを徹底すべきである。また、安全運転にもつながるものであるから知事部局、教育庁、警察すべての所属で取り組むべきである。 集中管理自転車は積極的に利用していただきたい。3 電力の削減は順調に行われているが、さらなる削減のためには、設備の更新や改修計画について検討されたい。 また、幹部職員が率先して取り組むとともに、執務環境への配慮は十分にしていきたい。4 公共事業の環境配慮については、平成 24 年度は担当者の努力の結果、全ての事業類型について 80% を達成した。 今後目標設定や配慮項目の見直しを行うとともに、第三者にもわかりやすい内容にしていきたい。